



毎週金曜日はショーのたての練習日。日々の積み重ねが子どもたちに夢を与える。

Public relations
OZU TOWN



大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ



広報 おおづ 2012 6

発行・編集 ■大津市・企画課
〒869-1292 熊本東条地部大津大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kunamoto.jp/>

UD FONT
易やしく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

今月のみどころ
県内初の家庭的保育事業がスタート

今年度から始まった家庭的保育事業を紹介
これが地域の子育て支援の出発点!

平成 24 年度 行政区嘱託員紹介

住民の皆さんと行政(役場)をつなぐ皆さんを
ご紹介します

クローズアップ大津人

永田栄治さん

6
JUNE 2012

永田栄治さん(矢護川)



その努力と汗は、
子どもたちには見せない――。

7月15日に町文化ホールで開催される「九州ローカルヒーローフェスタ in くまもととおおづ」。グランパワー・ヒノクニを通じて子どもたちにメッセージを送り続けるファイヤーフライファンタジーの副リーダーである永田栄治さんにクローズアップする。

「褒められたら伸びるんですよ」と笑う永田さん。ヒーローや怪人などの造形も行いながら、たての練習も人一倍努力する。それは、ショーを見た人からの歓声や称賛があるからこそ。努力から更なる称賛が生まれ、輪を作っていく。自分が好きなことだからこそ限界を超えていくことができる。

子どもの頃から物を作るのが好きだった。プラモデルは何個作ったか分かりませんね。プラモデルを作っていたことが、今の活動に生かされることなど彼自身も思わなかったことだろう。そして、今は多くの人たちに見てもらえることができる。それも活動を続けるモチベーションの一つだ。

副リーダーは、リーダーを陰ながら支えていく立場でもある。意見を出し合いながら良いものを作り上げていく。「ダメ出して悪い言葉じゃないと思うんです。リーダーはちゃんとダメ出ししてくれるから」と互いの信頼関係は深くも厚い。

プラモデルが好きだった少年は大人になって1/1スケールの夢を手に入れた。その道のりは遠く、決して楽な道ではないが、メンバーとなら歩き続けることができる。子どもたちのためというステキな目的と少しだけの自己満足のために――。

ついでの声

▼4月以降、取材でこれまで行ったことなかった場所やイベントなどにたくさん行かせていただいています。自分が居るところ以外の場所にもたくさんの方が居て、それぞれがいろいろなことをしたり、いろいろなことを感じたりしながら生きているのだということに改めて気づけました。いつか海外にも行ってみたいです。(TS)

▼先日、ミニコミ紙の取材を受けました。話を聞かれたりすることが苦手なので、うまく話せなかったのですが、見事にまとめてあつて、とても勉強になりました。▼これから私も町民の皆さんにお話を聞く機会があるかもしれませんが、その人の思いをきちんと受け取り、伝えることができるように努力していきたいと思っています。(S)